

発掘ニュース

第 17 号

昭和 63 年 9 月 10 日

発行 監 刊 いわき市教育文化事業団

と だ じょう り い せ き 戸 田 条 里 遺 跡

— 水田跡の調査 —

戸田条里遺跡は、福島県いわき市四倉町戸田地内に位置し、太平洋へ注ぐ仁井田川右岸の広大な沖積地にあります。

本遺跡は、条里制の区画が良く残っていることで古くから知られており、全国的にも、数少ない重要な遺跡のひとつとして注目されています。

戸田南地区において、県営によるほ場整備（63ha）が行われることになり、祖先が残した耕地整理のあとが、原形を失うことになりました。この貴重な文化遺産を後世に伝えるために、今年8月から10月までの予定で第1次発掘調査が始まりました。今までに判ったことを簡単に紹介しておきます。



北西上方よりみた戸田条里遺跡



現在も残る条里型水田遺構



調査状況（各時期の水田跡を検出）



調査状況（竪穴住居跡を検出）



弥生時代中期の水路（確認面）

調査の成果

今回の発掘調査は、現在残っている水田の区画（条里型水田遺構）がいつ頃つくられ、どのような地割になっているのかを究明することを第一の目的としています。

調査面積（23ha）が広く、そのすべてを調査することはできないので、50mから100mおきにトレンチ法（土層の断面を観察して遺構・遺物の有無を調べる）によって、調査を行っています。

現在までに10箇所を調査し、多数の遺構・遺物が発見されました。とくに弥生時代中期（約2,100年前）から現代に至るまで、水田耕作が行われていた事実や、条里型遺構が平安時代（約1,100年前）より継続していることなどが明らかになったことは、重要視されます。

また古墳時代後期（約1,300年前）の竪穴住居跡もみつき、今後の調査によっては、集落跡・墓跡・生産跡の解明が期待されます。

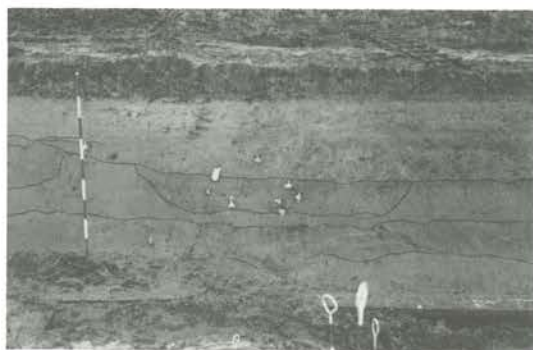
解明されつつある 戸田条里遺跡

縄文時代 本遺跡最古の時期です。縄文晩期（約3,000年前）の土器が多数出土していますが、現在のところ生活の痕跡はみつかっていません。北西には済戸貝塚（縄文中期）、南東には地引洞窟（縄文晩期）などの遺跡があります。

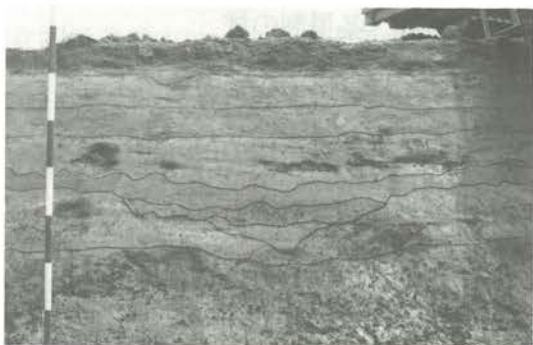
弥生時代 広い範囲に水田跡（現表土下1.6m）が発見され、畦畔や水路がみつかっています。弥生中期（約2,100年前）の土器や石器が多数出土し、近くに集落の存在が想起されます。

古墳時代 水田跡（現表土下1.2m）と竪穴住居跡があります。竪穴住居跡は一辺3mの方形です。時期的にみて、東隣にある堰下横穴群との関係が注意されます。

平安時代 水田跡（現表土下0.8m）と竪穴住居跡がみつかっています。条里制によって耕地整理された水田と集落の関係が注意されます。



古墳時代後期の竪穴住居跡（断面）



平安時代の水路（断面）



弥生土器の出土状態



須恵器の出土状態

じょうりせい
条里制について

千鳥式 ←条の方向		三 条	二 条	一 条	
6	5	4	3	2	1
7	8	9	10	11	12
18	17	16	15	14	13
19	20	21	22	23	24
30	29	28	27	26	25
31	32	33	34	35	36
↓					
平行式 ←条の方向		二 条	三 条	二 条	一 条
6	5	4	3	2	1
12	11	10	9	8	7
18	17	16	15	14	13
24	23	22	21	20	19
30	29	28	27	26	25
36	35	34	33	32	31
↓					
		三 条	二 条	三 条	一 条
12	11	10	9	8	7
18	17	16	15	14	13
24	23	22	21	20	19
30	29	28	27	26	25
36	35	34	33	32	31

条里制の坪

条里遺跡とは、大化改新（645年）後に成立した律令体制のもとで始められた古代の耕地整理のあとが、現在においても遺構として確認できる遺跡のことをいいます。

条里制とは、班田收受の法によって行われた土地区画の方法で、満6歳に達した人民に、一定面積の口分田（受け持ちの水田）を分け与えることを前提として行われた制度です。

条里制の水田区分の方法は、里または坊とよぶ一辺の長さ6町（約654m）四方を一区画の単位として、その南北の列を条、東西の列を里とよびます。里または坊は内部を1町ごとに36の区画に分けられ、その1町（約109m）四方の区画を坪とよびます。このとき、里のなかに36の坪をどのように並べるかによって、千鳥式と平行式の2通りの方法があります。この方法により耕地の位置は、何条、何里、何坪というように明確化できます。坪のなかには、更に10等分されて1段ごとに区画されますが、その分け方にも長方形と半折形の2通りがあります。本遺跡は長方形の形式をとっています。

お 知 ら せ

中世の館跡である中山館（いわき市平字中山）の現地説明会が、9月17日（土）の午後1時から行われます。ふるってご参加下さい。

発 行 昭和63年9月10日

編 集 財団法人いわき市教育文化事業団 電話23-9348

いわき市平字堂根町1番地の4 いわき市文化センター5階